

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度に おける取組の評価・分析を踏まえた取組 これまでの取組状況	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
13114中 野区	②学校と地 域の課題	05 その他	令和6年度は中学校区単位に設置していた「地域学校運営協議会」を新たに4中学校区で設置するとともに各学校に配置する地域コーディネーターも2人から10人に増員した。 令和7年度以降は、これまでの中学校区のものから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく学校単位の学校運営協議会の設置を進めていくこととなるため、地域コーディネーターの各学校への配置や育成機会の充実を図っていく必要がある。	令和7年度より各学校に学校運営協議会の設置を進めることに合わせ、地域コーディネーターの各学校への配置も進めていく。また、地域コーディネーター間の情報やノウハウを共有する会議を開催し、統括地域コーディネーターを中心として相互に成長し合える環境を整えるとともに、認知度向上のため地域コーディネーター及び地域学校協働活動を紹介する会報を作成し配付する。	令和6年度は、地域コーディネーターを1校に1名配置することを目標としていたが、配置対象校が19校であるのに対し10人の配置にとどまった。区ホームページを通じて協働活動や地域コーディネーターの制度について発信を行った。 令和6年度は対象校すべてに配置が行えなかったことから、令和7年度も引き続き地域コーディネーターの配置を進める。また、地域コーディネーターのノウハウを共有する機会をつくるとともに地域に対しさらなる認知度の向上を図っていく。	地域コーディネーターの配置が進むとともに地域コーディネーターのノウハウ共有の機会をつくることで地域と学校の協働活動を進めるための体制が整備される。	地域コーディネーターの配置数	10 人	31	31	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 令和7年度は学校運営協議会を全区立学校に設置することにあわせて地域コーディネーターも全区立学校に配置するなど、学校と地域の連携・協働体制の基盤を整備することができた。一方で、地域コーディネーター間における情報やノウハウの共有や制度の認知度の向上については、まだ取組が不十分であり、今後地域コーディネーター間の連絡体制の整備と広報機会の拡充に取組んでいく必要がある。	